

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

|         |                    |            |            |
|---------|--------------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 2672700297         |            |            |
| 法人名     | 社会医療法人社団 正峰会       |            |            |
| 事業所名    | モンファミーユ舞鶴(東棟)      |            |            |
| 所在地     | 京都府舞鶴市大字和田小字中田1065 |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成29年1月16日         | 評価結果市町村受理日 | 平成29年4月21日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/26/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;igvovocd=2672700297-00&amp;PrefCd=26&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/26/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;igvovocd=2672700297-00&amp;PrefCd=26&amp;VersionCd=022</a> |
|----------|---|

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

|       |                                    |  |  |
|-------|------------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター           |  |  |
| 所在地   | 〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル |  |  |
| 訪問調査日 | 平成29年2月13日                         |  |  |

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根ざした施設であるため、広報誌を配布しホームの事を少しでも知って頂けるよう努めている。</li> <li>・入居者様が安全に安心して暮らしていただけるように、ご家族との信頼関係を築けるように努めている。</li> <li>・入居者様のことを第一に考え、個別性のあるケアプラン作成とその実践により生きがいを持ち暮らしていただける事を目指している。</li> <li>・認知症サポーター養成講座を今年度2回企画し、既に2回地域の集会所で出張講座など開催している。</li> <li>・隣接する老健との連携により、ご利用者の生活と健康管理は充実したものとなっている。</li> </ul> |
|--|

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

|  |
|--|
| <p>当該ホームは地域との関わりを大切に考え認知症理解に向けた講座やシルバー110番に参加したり、広報誌の発行を再開し定期的に地域へ配布や回覧をするなどホームの取り組みを発信しています。また法人の餅つきや夏祭りには婦人会や民生委員の協力を得たり、ボランティアの来訪もあり、地域との良好な関係を築いています。職員は利用者のその人らしい暮らしを考え、法人の生け花教室に通う方や計算の脳トレに励む方等、本人が好きな事や得意な事に取り組めるよう支援したり、関わりの中で利用者の声を聞き馴染みの神社への初詣に繋げたり、墓参りやカラオケ等利用者の思いに添った外出支援にも取り組んでいます。また年に2回開く家族会や満足度調査、家族が理事長と直接話す機会も設け、家族から得られた意見は速やかに改善しサービスの向上に繋げています。</p> |
|--|

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66 | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている<br>(参考項目:30,31)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |    |   |                       |   |

自己評価および外部評価結果

| 自己                | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|-------------------|-----|---|--|--|-------------------|
|                   |     |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I 理念に基づく運営</b> |     |   |  |  |                   |
| 1                 | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 施設の基本理念「地域と共にあなたと生きる」を、日々の朝礼、会議の際に、全員で復唱し共有すると同時に、広報誌の配布や地域の行事等で交流を図っている。                              | 「笑顔とぬくもりのある暮らしの中で、一人ひとりが自分らしく生きる」と掲げた独自の理念の基、具体的な3つの目標を決めています。職員は理念を常時携帯し、朝礼時に唱和すると共に各ユニットに掲示意識できるようにしています。毎年理念に基づいた事業計画を作成し、半期ごとに実践状況を振り返りながら理念の実践に繋げています。  |                   |
| 2                 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 日常の交流は多くないが、施設行事へのボランティアとして婦人会や民生委員、中学生等の参加がある。また、買い物、初詣への参拝、散歩等、ご利用者が地域に出向く機会を設けている。                  | 市の催しへの参加や地域の運動会では席を設けてもらい利用者と参加したり、法人の餅つきや夏祭り等の行事は地域のボランティアの協力を得ています。また小学生が来訪し利用者と一緒に交流したり、舞踊や楽器演奏等のボランティアの来訪もあります。法人として自治会に加入し、ホームの広報誌を地域に回覧したり、認知症の理解に向けた講座の開催やシルバー110番にも登録し相談を受けることを地域の方に伝えていきます。 |                   |
| 3                 |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 今年度、認知症サポーター養成講座の開催を2回計画。内1回を地域の集会所で開催することができた。また、地域への出張講座も開いたり勉強会を行なっている。                             |  |                   |
| 4                 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 2ヶ月に一度会議を開催している。ご家族代表にも参加頂き、日頃のサービスと取り組みや、運営状況について意見を聞きサービスの向上に活かすように努めている。                            | 会議は家族代表や市職員の他、多くの地域関係者の参加を得て隔月に開催しています。ホームの状況や行事報告、満足度調査結果や外部評価を受け改善に取り組んだ内容の報告などを行い意見交換しています。参加者の意見を受けて満足度調査結果を基に取り組んだ内容の公表に向けて準備を進めるなど、運営やサービスに活かせる有意義な会議となっています。                                  |                   |
| 5                 | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 運営推進会議のメンバーとして市の職員に参画いただいている。毎回、議事録をお送りしている。   | 運営推進会議に市職員の参加がありホームの現状や取り組みは把握してもらっており、分からない事は随時相談しアドバイスを得ています。また市のグループホーム連絡会の研修や会議に出席したり、介護相談員の受け入れと共に意見交換会にも出席し協力関係を築いています。  |                   |
| 6                 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 玄関の施錠は行っていない。扉の開閉時にはチャイムが鳴りご利用者に危険が無いように努めている。委員会を通して、内部、外部研修を受講し理解する事で、職員の意識の向上と身体拘束廃止に向けた取り組みを行っている。 | 身体拘束に関する委員会活動があり、委員が内外研修を受講し職員に伝達しています。利用者はユニット間を自由に行き来できており、言葉による行動の制止が見られた場合はその都度注意をしています。基本的に施錠は行わず玄関の出入りはチャイムが鳴り、外に行きたい利用者には職員が付き添ったり、テラスに出て気分転換を図ってもらっています。                                     |                   |

モンファミーユ舞鶴(東棟)

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|-----|---|--|---|-------------------|
|    |     |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている     | 内部、外部研修を積極的に受講し、棟会議等で他職員へフィードバックを行い、虐待防止意識を持つように努めている。   |   |                   |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 現在は何れも対象の方がなく、制度について学ぶ機会も少ない。今後、対象者があれば活用することも考え、制度について学習して行きたい。                                   |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | 契約の締結にあたっては、ご家族に来訪願いや、契約書や重説の内容の説明を行い、疑問点を伺っている。改定の際は書面での説明となり、電話での問い合わせ窓口と担当者を明記し、不安や疑問の解消に努めている。 |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                  | 苦情相談窓口を掲示している。また、ご意見箱を設置し、苦情や希望など意見を伺う。伺ったものは報告書にあげ、検討し対応している。他、年1回顧客満足度アンケートを実施し接遇面や事業計画に反映している。  | 家族の来訪時に利用者の様子を伝える中で意見や要望を聞いたり、顧客満足度調査の他、家族会や理事長と直接話ができる機会が其々年に2回あり、意見を出せる機会を多く設けています。居室の掃除について得られた意見では掃除チェック表を作り、利用者担当職員が中心に丁寧な掃除を心がけるなどその都度改善に取り組んでいます。                            |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                   | 年に2回管理者と職員が面談を行う機会を設けている。毎月の棟会議や業務報告書等で意見を聞く事が出来ている。また、個別で相談や提案等を聞く事が出来るように努めている。                  | 職員は日々の業務の中や毎月提出する業務報告書、毎月のユニットごとの会議は意見を出せる機会と共に出された意見を検討する場にもなっています。また美化や接遇などの委員会があり委員を中心に活動し会議時に報告や注意喚起等を行っています。職員の提案を受け広報誌を再開し地域へも配布する等、意見を反映した取り組みに繋がっています。また定期や随時の面談の機会も設けています。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている   | 個人々の目標管理し半期ごとに評価・指導を行なっている。研修参加を推奨し、その費用は全額施設負担で勤務扱いとし、参加できるよう調整を行っている。                            |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている      | 年1回は研修参加できるよう案内している。それぞれの役割に有った研修を受ける機会の確保に努めている。  |   |                   |

モンファミリー舞鶴(東棟)

| 自己                           | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------------------------------|-----|--|---|--|-------------------|
|                              |     |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 14                           |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 京都府グループホーム連絡会や舞鶴市グループホーム連絡会、または法人内グループでの交流の機会を持ち、意見交換の場を作りながら良い所は取り入れている。                 |  |                   |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |  |                   |
| 15                           |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | 入所前の面談の際、ご利用者と面談し意向を聞くように努め、入所後も小まめに声かけしている。話を傾聴するよう行なうと共に、信頼関係の構築に努めている。                 |  |                   |
| 16                           |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                      | ご入居者との面談時や、入居調整時等にご家族の要望等をお尋ねし、入居者、ご家族との思いを共有するところから、信頼関係を築くことに努めている。                     |  |                   |
| 17                           |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                  | ご入居者、ご家族との面談後の情報をアセスメントシートに反映させ、何を必要とされているのか課題を抽出し、本人に合ったサービスを提供できるよう努めている。               |  |                   |
| 18                           |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | 家族という認識で、同じ空間で過ごしている。アセスメントシートにて、ご本人が出来る事、出来ない事を把握し、毎日の生活の中で役割をもち生活を送って頂けるよう努めている。        |  |                   |
| 19                           |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている                   | 面会時や電話、毎月お送るメッセージカード等で近況を伝えている。施設内外の行事には参加頂けるようご案内している。また、入居者様とご家族の間に入り思いを傾聴し関係づくりに努めている。 |  |                   |
| 20                           | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                               | 「家を見に行きたい」「墓参りがしたい」と希望されれば、外出の機会を設け、馴染みの方とも合えるように支援している。                                  | 孫や親戚などの来訪時には居室に案内し椅子やお茶を出しゆっくりできるよう配慮をしています。関わりの中で知り得た馴染みの神社へ初詣に行ったり、毎年誕生月には行きたい所へ出かける馴染みの支援を行っており、墓参りやカラオケに行く等、希望を聞きながら職員が付き添っています。また家族と外出や自宅に戻る方もおり、身支度などを支援しています。 |                   |

モンファミーユ舞鶴(東棟)

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                                   | それぞれの性格や相性等を把握し考慮した上で座席を配置している。また、個々の状況を見て臨機応変に対応に努めている。                 |   |                   |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 今年度は入院退去者1名あり。入院時に、ご家族や医療機関と連携を図り必要な支援に努めている。                            |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |   |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日常生活の会話の中で、思いや希望を聞き本人の思いをくみ取るようにしている。何気ない言動や態度を記録し職員間で共有できるように努めている。     | 入居に向けては利用者や家族からホームの暮らしに望むことや好きな事、職歴などを聞いたり、家族に書いてもらった暮らしの様子などの情報を職員間で共有し意向の把握に繋げています。日々の暮らしの中では利用者から聞いた希望や職員が気付いた生活の様子や変化などを記録に残し、会議の中で思いが把握できるよう検討しています。                           |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入居前の主治医やケアマネ等からの情報提供やご家族からの聞き取り、バックグラウンド等から把握、理解し支援するように努めている。           |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 日々の記録をはじめ、毎月のモニタリング、棟会議等で随時把握し共有するように努めている。                              |   |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 電話や面会時にご家族から要望を聞いている。介護計画書に基づいたモニタリングを月1回実施し、棟会議で計画書の内容を検討し作成している。       | 事前に確認した利用者の希望や家族の意向、毎月のケアプラン会議で検討した内容などを参考にサービス担当者会議を開き介護計画を作成しています。毎月計画の実施状況をモニタリングと評価し、変化のない場合は6か月毎に再アセスメントを行い介護計画を見直しています。サービス担当者会議には医師や看護師の参加を得ており、参加が得られない時は事前に意見を確認し反映させています。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の個人ケア記録に記載し、職員間で情報共有している。事故によるケガや状態の変化がある場合は、治癒するまで記録し、また介護計画書を見直している。 |   |                   |

モンファミーユ舞鶴(東棟)

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|---|---|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 28 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                            | 老健と連携を図りながら、ニーズに沿う事が出来るように努めている。  |   |                   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 保育園、小学校、中学校、婦人会ボランティアなどの訪問を受け、交流ができています。また、買い物や地域に出かける機会を積極的にもち楽しんで頂けるよう努めている。                          |   |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 入居時にご家族に医療機関を確認している。受診が必要となった際は、本人とご家族の意思を聞き取り、必要な情報提供の上受診して頂けるよう支援している。                                | 入居時にかかりつけ医がいる方は継続できることを伝え、かかりつけ医や専門医などへ受診が必要な場合は主に職員が付き添い、家族へはその都度受診結果を報告しています。協力医は週3回往診があり、24時間相談や随時の往診にも対応してもらっています。また訪問歯科は必要に応じて依頼し来てもらっています。                                |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 気づきや情報は記録に残し、看護職に報告し、その都度相談をしている。   |   |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院されたときは、ご家族との連絡を密にし、職員が病院へ面会に行った際には、看護師等と情報を交換しホームに持ち帰り共有している。   |   |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 重度化した際、ご本人及びご家族の意向を医師同席のもと説明、確認し同意を頂いたうえで書面化している。ご家族と話し合い、想いを共有し看取りに取り組んでいる。また状態の変化に応じその都度介護計画書を見直している。 | 契約時に重度化した場合の対応について指針に沿って説明し、最期を迎えたい場所や食事が摂れなくなった場合の対応など伝え意向を確認しています。状況の変化に合わせて医師や看護師、職員が判断し、家族に意向を再確認しています。家族が宿泊できる場所もあり、医師や看護師と連携し意向に沿って支援に取り組んでいます。年に1度職員に向けてターミナル研修を実施しています。 |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 緊急時対応マニュアルを整備し、実際に対応を行なった時は、その振り返りを行なっている。また、マニュアルだけではなく救命救急講習等に参加し実践に備えている。                            |   |                   |

モンファミーユ舞鶴(東棟)

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35                               | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている           | 消防訓練時に地域の消防団にも参加して頂けるよう協力をお願いをしている。原子力災害対応マニュアルを整備している。緊急連絡網の抜き打ち訓練を実施した。また京都府災害警報情報等、確認できる様にしている。 | 年に2回昼夜を想定し併設施設合同の訓練を1度は消防署の協力を得て実施し、消防団の協力を得ることもあります。火災や土砂災害、原発事故など想定を変えながら通報や初期消火、避難誘導などを参加できる利用者と共に実施しています。隣接する法人施設全体で3日分程度の備蓄をしています。  |                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |  |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 職員それぞれが毎月接遇目標を立て、またホーム内の接遇目標も立てている。人格を尊重した対応や職員同士の会話に気をつけるよう心掛けている。                                | 年に1度接遇マナーに関する研修を行うと共に、入職時には身だしなみやお辞儀の仕方などが具体的に書かれたマナーブックを渡し研修をしています。接遇委員会がマナーブックの内容を確認し見直したり、接遇の年間目標を決めてもらい、個々の職員も月間目標を決め、振り返りや確認を行っています。不適切な対応があれば職員が互いに注意をしています。                                     |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 日常会話の中で要望をくみ取り、カルテに記録・共有したうえで職員全員で検討し自己決定して頂けるように働きかけるようにしている。                                     |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 希望に添えるように支援しているが、外出(散歩を含む)については、可能な限り付き添うように努めている。個性をなくすことなく、個々のペースで過ごして頂いている。                     |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 衣類等はご家族に用意して頂いている。理美容は隣接老健に出入りしている業者を利用している方やご家族が馴染みの理美容に連れて行かれる。可能な方は、衣類を自分で選択し化粧をされる方も居られる。      |  |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 職員と一緒に食事を作る機会を設け、入居者それぞれの力量に合わせて準備等してもらっている。片づけは、毎食役割として職員と共にされる方も居られる。                            | 食事は隣接する法人の厨房から温かい状態で届き、食事委員が利用者の希望などを法人の厨房に伝えていきます。盛り付けや後片付け等を一緒にやり職員も同じ食事を摂っています。タコ焼きや善哉などを手作りしたり、食事レクリエーションの日を設け希望の物を一緒に作ったり、巻き寿司や花見弁当、バーベキューなど季節に合わせて楽しんでもらっています。また個別外食の他、梅ジュースや育てた野菜で漬物を一緒に作っています。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 日々の食事や水分の摂取量を日誌に記録している。1日1000ml以上を目標に水分摂取して頂けるように支援しているが、嚥下状態や摂取量によっては、ポカリゼリーやお茶ゼリーで補っている。         |  |                   |

モンファミーユ舞鶴(東棟)

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|---|--|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | 毎食後、声かけにて実施できる方はして頂いている。就寝時は、義歯を洗浄剤に付けて頂くよう声掛け支援している。  |   |                   |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている  | 排泄表でパターンを把握し、ひとり一人に合ったパットや排泄時間を考慮し誘導に努めている。また、テーナのオムツを一部導入しており、睡眠を妨げない配慮も行なっている。                           | 排泄記録を参考に個々の利用者の排泄リズムを把握し、トイレで排泄ができるよう支援をしています。毎月のモニタリングでは排せつ状況についても課題が無いか検討し確認しています。支援を継続することでパッドが不要になった方や夜間は睡眠を考慮し排せつ用品を選択するなど、一人ひとりに合わせた支援を検討し自立に向うよう取り組んでいます。          |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                  | 水分摂取の促しや、腹部を温めたりマッサージを行ったり、また身体を動かす機会を持つようにしている。便秘が持続するようであれば看護職に相談して対応を検討している。                            |   |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | その時の希望や入居者やご家族の都合により変更している。随時その日の状況で対応している。  | 毎日入浴の準備を行い週に2回以上は入れるよう声をかけ、午前中や夜間の入浴など希望を聞きながら支援をしています。希望のある方は同性介助を行い、入浴剤を入れたり、マンツーマンでのんびり入ってもらい、湯船に入ることが困難となった場合は機械浴の設置もあります。入浴を断る方には声掛けの工夫や職員の交代など工夫しながら入浴できるよう支援しています。 |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                   | 就寝時間は特に定めておらず一人ひとりに合わせて対応している。室温、照明、布団など個人の希望を尊重して対応している。  |   |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている              | 用法用量についてファイルにて管理し理解している。服薬の支援や症状の変化については、個人記録や業務日誌で確認できるようにしている。服用の際は飲み込まれるまでを確認している。                      |   |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 隣接する老健で実施されている映画鑑賞会や生け花教室等に参加したり、付き添いのもと散歩をしている。また、出来る方は食器洗いや片付け、洗濯物たたみ等家事に取組まれている。歌が好きな方は気分よく唄えるよう支援している。 |   |                   |

モンファミーユ舞鶴(東棟)

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|--|--|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                      | 可能な限り散歩などの希望に添えるように努めているが全員ではない。個々に合わせて、事前に外出の計画を立てて実施している。また、地域での催しにも出かけられるよう支援している。      | 気候の良い時期は近隣や庭を散歩したり、ドライブなどに出かけています。広い庭で花や野菜の世話や草引きをしたり、テラスでお茶を飲むなど外気浴をしています。初詣や紅葉ドライブ、天橋立への小旅行では家族にも声をかけ一緒に外出を楽しんでいます。また墓参りや外食、カラオケなど利用者の希望を聞きながら出かける個別の支援にも取り組んでいます。                           |                   |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 現金をお預かりしていない。買い物などで購入された場合は事業所で立替え、後日ご家族にお支払いいただいている。                                      |  |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 希望があれば支援している。  |  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節ごとに事業所内の飾りを変えたり、導線を考え混乱のないようテーブルの位置を配慮している。またトイレ等、使用した際は消臭スプレーやお香を利用し不快なく過ごせるように工夫をしている。 | ホーム内は生け花や雛人形などを飾り、リビングに続くテラスでは花や野菜、稲などを利用者と一緒に育て季節を感じながら過ごしてもらっています。テレビの前のソファや中庭に面した廊下にも椅子を置き、掘り炬燵のある和室もあり、利用者が居場所を選べるようにしています。また利用者の相性を見ながら随時テーブル席を変更したり、柔らかい間接照明を用い利用者が落ち着いて過ごせるよう環境を整えています。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 独りで過ごしたい時は居室で過ごして頂いたり、和室やリビングで気の合ったご利用者と過ごしていただけるように座席の配慮をしている。                            |  |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 基本的に何を持ち込まれても良いとお伝えしている。好みのぬいぐるみや家族の写真等を飾られたり、仏壇を持ち込まれている方もいる。                             | 居室には洗面台やベット、整理筆筒などが備え付けられ、入居時には必要な物は自由に持ち込めることを伝えています。利用者はテレビや座り慣れたソファなどを持参し過ごししやすいよう配置したり、自分や家族の写真、仏壇、生け花の花器など、本人が大切にしている物も持ち込んでもらい、安心して過ごせる居室となるよう支援しています。                                   |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 導線の妨げにならないように家具の配置等配慮している。入居者の声掛けや行動を見守りながら、何をしたいのか気づき、一人ひとりの生活の支援を行う。(ひもときシートなど活用する。)     |  |                   |